

ふうしゃだより

WINDMILL LETTER

2021.
4月号

Vol.08

こんにちは、日本風力エネルギー(株)です。

ぽかぽかと春爛漫の季節となりました。新年度を迎えます今月の「ふうしゃだより」では、風車に関する情報をご紹介します。「今月の風車ニュース」のほか、現在話題となっている環境やエネルギーに関する情報を厳選してご紹介する「注目のエネルギーニュース」といったコンテンツをお届けします。





土砂崩れを徹底防止!

風車設立までの3つのステップをご紹介します!!

ゴールデンウィークが過ぎれば、もう間もなく梅雨の季節がやってまいります。地域の皆様からは、雨量の増加に伴う風車建設位置の
がけ崩れや土砂崩れに対する心配の声をいただくこともございます。

しかし、風車の設立にあたっては、土砂崩れを起こさない為
に様々な取り組みが行われていることをご存知でしょうか?

今回は、風車設立までに3ステップを簡単にご紹介します。

万全の
調査・計画で
安心だね!



STEP

01

徹底的に土壌環境を 調査“地質調査”

風車本体の建設予定地点一帯がどのような地盤環境かを広域
に把握し、地盤に応じた施工計画を定めるため、現地による地質調査
が実施されます。調査項目は10項目以上あり、あらゆる可能性を
想定し、事前に徹底した調査を行います。



STEP

02

地質調査を受けて土砂災害 を防ぐため綿密に設計計画



STEP1の地質調査の結果から、建設予定地がど
のような地盤であるかを特定。たとえ地質に懸念
点があったとしても、綿密な土砂災害防止計画
を立てることで基準値をクリアします。



STEP

03

土砂崩れを防ぐための補強工事を実施



STEP2の施工計画を受けて、豪雨に対しても地域が
安全なように工事斜面の緑化等による保護工や、沈砂
池設置等で雨水による域外への土砂流出防止が図ら
れます。また雨水も既存の河川や溪流に流す排水工を
整備し、水害防止工事を実施します。



日本風力エネルギーの 取り組みのご紹介

1 地球に優しいクリーンエネルギーで、 地球規模の課題解決を。

従来主流であった石炭火力発電は、地球温暖化や大気汚染といった観点から、環境負担の大きい発電方法とされてきました。私たち日本風力エネルギーは、自然の恵みである日光や風といった最もクリーンなエネルギーを活用した発電事業を展開しています。

日本においてもその豊かな土壌を生かし、現在24ヶ所で太陽光発電所を稼働しており、再生可能エネルギーの供給および、地域経済の発展に寄与しています。

私たちの
取り組みを
ご紹介します



2 地域の皆様との共生をモットーに、 地元で根差した活動を。

私たち日本風力エネルギーは、活動を通して「地域経済の発展」に寄与することが最も重要な意義であると考えています。

地域の一員として貢献したいという想いから、その地域に根差した社会貢献プログラムを実施しております。鳥取県におきましても、地元住民の皆様と共に高山・三滝の登山道の草刈りに参加させていただくなど、様々な取り組みをさせていただいております。



▲2020年8月 高山・三滝の草刈り活動

おわりに



明治地区の皆様。

日本風力エネルギー株式会社 取締役会長の亀岡と申します。4月号ふうしゃだよりはいかがだったでしょうか。今後も是非、皆様にとって有益なコンテンツをお届けできるよう、精進してまいります。

私たち日本風力エネルギーは、地域パートナーとして信頼していただけるよう、地域の皆様との対話を重ねながら活動していきたいと考えております。今後とも説明会等、話し合いの機会を頂戴出来ますよう、何卒宜しくお願い致します。

日本風力エネルギー株式会社 取締役会長 亀岡信行

お問い合わせ

日本風力エネルギー株式会社 鳥取事業所
〒680-0404 鳥取県八頭郡八頭町見槻中154-2 隼LAB 2-A

TEL:0858-76-0700
FAX:0858-76-0701

